

# MARUSHO NEWS Vol.85

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。

記念スタンプを  
楽しく収集!

## m<sup>+</sup> maru+mono 切って旅する スタンプノート



### ■ 観光地だけでなく、お城、鉄道の駅、博物館や美術館、その他にも

いろいろな場所にスタンプが設置されており、スタンプ収集を趣味にしている方もたくさんいらっしゃいます。

スタンプを押す専用のスタンプ帳は豊富にあります。使いづらさや押したスタンプのインクが滲んでしまうなど、改良の余地のあるものが多いことから、より便利で使いやすく、かつデザイン性の高いスタンプ帳が作れないかということで、さまざまな意見をもとにサンプル作成を繰り返し、開発したスタンプ帳がmaru+monoブランドの「切って旅するスタンプノート」です。

### スタンプノートの誕生ストーリー

友人との旅行の話から、旅先での記念スタンプをより特別な体験として残すというアイデアが生まれました。友人が旅先のスタンプを記念に押しても、帰宅後の保管に困っている様子を見て、思い出と一緒にスタンプを綺麗に残せるアイテムがあれば便利だろうと感じたことがきっかけです。

丸庄には、紙や製本に詳しいプロがいます。さっそく悩みを相談してみたところ、あれやこれやと楽しいアイデアや工夫がいっぱい出て、しかも実際にノートまで作ってしまいました。当初は自分用に改良を加えて楽しんでいただけでしたが、もしかしら、こんな風に悩んでいるのは私や友人だけじゃないかもしれない。同じように思っている方にも楽しんでいただけたらと本格的に商品化することになり現在に至ります。

### こだわりポイント ～スタンプ好きにはたまらないうれしい機能～



インクがにじみにくい紙なので、スタンプが綺麗に押せる



裏表紙が二つ折りでスタンプ台紙やしおりとして利用可能



三角形ガイドでスタンプをまっすぐ押せる



ページを切り取ってはがきとして使用できる



ピンクの色紙が挟まれており、裏写りを防止



手のひらサイズで軽量、持ち運びに便利

### ご購入者の方からこんな声が届いています

- ・「デザイン性に惹かれて購入しましたが、リング式で使い勝手がとても良いです」
- ・「旅の思い出が1冊にまとまって嬉しいです」
- ・「普段持ち歩いて押したいときにすぐ取り出せるのが助かっています」
- ・「珍しいスタンプを入手した為、切り取ってハガキとして友人に送って喜びを共有することができました」
- ・「スタンプが集まる喜びを知り、旅に出かける楽しみが増えました」
- ・「切り取ってファイルに整理して自分だけのスタンプコレクションを作るのが楽しいです」

### スタンプノートが「BASE」で販売中!!

maru+monoブランドの中でも一番のヒット商品である「切って旅するスタンプノート」。より多くの方にスタンプ集めを楽しんでいただけるよう、専用の販売サイトを新たにオープンしました!

最新の商品情報や限定アイテムもこちらで順次ご紹介してまいります。旅の前にぜひアクセスして、あなたのスタンプコレクションを始めてみませんか?



詳しくはこちらをご覧ください



### 商品ラインナップの一部をご紹介します



スタンプ



鉄道



電車



マップ



お城



自転車



レトロ柄



全部で  
15種類

### ■ 今後の展開について

デザインのバリエーションを増やすだけでなく、お気に入りの一冊がつかれるカスタマイズノートや用途に合わせた仕様の展開などを検討しています。いずれはスタンプの設置しているすぐそばでの販売ができればと考えております。



スタンプラリーの歴史 ～達成感? 収集欲? スタンプ集めの魅力～

室町時代の霊場巡り

スタンプラリーの原点は室町時代の「霊場巡り(特定の宗教的な場所や寺院を訪れる巡礼)」にまでさかのぼります。お遍路さんで有名な四国八十八箇所霊場などで、寺院を巡りながら「御朱印」や「納経印」を集める行為がスタンプラリーの始まりとされています。

1970年代のイベント

現代のスタンプラリーの形は1970年代に登場しました。1970年の大阪万博では、パピリオンごとにオリジナルのスタンプを集める「スタンプコレクション」が非常に人気がありました。現在でも当時のスタンプ帳がオークションで取引されているそうです。



また、1971年には鉄道会社が乗客を増やすために全国の主要な駅に独自のスタンプを設置した「ディスカバー・ジャパン・キャンペーン」を開催しました。これが観光地などでのスタンプラリーの普及に大きく寄与しました。

現代のスタンプラリー

スタンプラリーはその後進化を続け、最近では「デジタルスタンプラリー」も登場し、スマートフォンを使ってスタンプを集めることができるようになってきています。位置情報を利用して、実際にその場所に行かないとスタンプが押せない仕組みです。

アニメやゲームなどをテーマにしたスタンプラリーも多く開催されており、幅広い年齢層に人気です。



MARUSHOに聞いてみよう! ～印刷物の違い、呼び方がわからない?～

(週刊MARUSHO アーカイブ)

お客さまと話している時、こんなことを聞かれることがあります。「チラシとビラって、どう違うの?」似たような質問に「パンフレットとリーフレットの違いは?」というようなものもあります。いったい何が違うのでしょうか?

●チラシとビラ

どちらも宣伝広告用のためのペラ物(1枚刷りの印刷物)。それぞれ日本語由来の言葉といわれ、江戸時代にはすでにあったようです。

チラシは、漢字で書くと「散らし」。街頭で配られるものを指し、人に知らせるためにまき散らしたものを。江戸時代には、客を引き寄せることから「引札(ひきふだ)」とも呼ばれていました。ビラは、紙片の片を「びら(ひら)」と言うことから。

「チラシ」が配られたものに対して「ビラ」は人目につくところに貼られたものだったようです。英語の「bill(貼り紙)」と混交したとも。以上のことからすると「まかれるのがチラシ」「貼られるのがビラ」とすることもできますが、今ではその境界がかなりあいまいであることも事実です。政治的な宣伝に用いられる場合はビラと呼ばれることが多いようです。



●パンフレット

複数のページで構成された小冊子で、綴じ加工されたものをいいます。用途や内容によって、商品パンフレット、旅行パンフレット、会社案内などと呼び分けたりします。

リーフレット、パンフレットともに案内・説明・広告などを目的としており、用途は同じです。

●リーフレット

リーフレットには「一枚の葉っぱ」という意味があります。一枚刷りの折ってあるだけの印刷物で、不特定多数を対象にして制作されます。チラシとパンフレットの中間的な印刷物というイメージです。



チラシ・ビラから、リーフレット、パンフレット、さまざまな印刷物のご相談は、担当営業までお声かけください。

用途、目的、予算に合わせて最適のご提案をさせていただきます。

まだ間に合います!

オリジナル卓上カレンダー



A. スタンダード  
書き込みスペースが広い  
日祝日文字色分け

B. 六曜対応  
六曜(六輝)表示  
土日祝日色分け

C. 丸庄モデル  
置く場所を選ばない  
日祝日文字色分け

〈カラーラインナップ〉



1000個  
ご注文の場合 **150円**  
(税・送料込み)

既製品の名入れカレンダーを工場直販価格にてご提供しております  
※一部をご紹介します

IC500

IC506

IC521

IC102

IC854

その他の商品についてはQRコードをスキャンしてデジタルカタログをご覧ください。